

令和6年度海老名市一般会計決算の概要

まちづくり第2ステージへ ～新たなる挑戦～

決算の状況

() 内は対前年度比

◆一般会計歳入決算額 576億 641万6,371円
(13億4,911万8,004円、2.3%の減)

◆一般会計歳出決算額 556億2,927万7,052円
(8億9,415万3,978円、1.6%の減)

歳 入 (一般会計)

() 内は対前年度比

○市税 263億1,600万円 (6億3,600万円、2.5%増)

- ・ 個人市民税 95億3,300万円 (4億 100万円、4.0%減)
- ・ 法人市民税 21億2,400万円 (7億5,200万円、54.8%増)
- ・ 固定資産税 118億3,000万円 (2億3,500万円、2.0%増)

○国・県支出金 149億7,200万円 (6億 200万円、3.9%減)

○繰入金 27億1,200万円 (3億7,600万円、16.1%増)

○市債 24億4,900万円 (5億9,300万円、19.5%減)

歳 出 (一般会計)

() 内は対前年度比

○義務的経費 285億6,000万円 (28億円、10.9%増)

- ・ 人件費 88億5,000万円 (7億5,100万円、9.3%増)
- ・ 扶助費 167億3,000万円 (19億7,000万円、13.3%増)
- ・ 公債費 29億8,000万円 (7,800万円、2.7%増)

義務的経費のすべての内訳が増加しました。扶助費は、子育て支援や障がい者支援に係る経費が引き続き伸びていることに加え、定額減税補足給付金支給事業費が増額したことなどにより増加しました。

義務的経費は今後も増加が見込まれるため、財政構造の弾力性確保の点から引き続き注視が必要です。

○普通建設事業費 38億8,000万円 (16億7,500万円、30.2%減)

普通建設事業費は、食の創造館別館の建設が完了したことなどにより減額となりました。

令和6年度の主な取組

令和6年度は「まちづくり第2ステージへ ～新たなる挑戦～」をテーマに、高齢者・子ども・障がい者に寄り添った、誰にでも優しいまちづくりに向けて、市民や企業等と連携し、元気な海老名を次世代につなぐため、計画的かつ戦略的にまちづくりに取り組みました。

充実して暮らせるまち



■白石市との姉妹都市提携30周年記念式典の実施 180万円

宮城県白石市と姉妹都市として提携30周年を迎えたことから、「30周年記念式典」を行いました。



日本舞踊体験



白石市との姉妹都市提携30周年記念式典

■国際化事業の充実 1,200万円

市内在住の外国籍市民を対象に「一元的相談窓口」「日本語教育支援」「多文化交流」を3つの柱として、国際化事業を展開しました。

健やかに暮らせるまち



■デマンド型交通高齢者外出支援実証運行 7,600万円

デマンド型交通高齢者外出支援事業「えび〜くる」の実証運行を通し、これまでの公共交通等では支援が届かない高齢者に対して外出機会を創出しました。



えび〜くる

■がん患者等医療用補整具購入費用の助成 220万円

がん治療による外見の変化を補うため、ウィッグ及び胸部補整具の購入費用を助成しました。※上限3万円

にぎわいがあり自然に優しいまち



■イルミネーションのシンボルツリーの設置 300万円

海老名駅東口にイルミネーションのシンボルツリーを設置し、海老名駅周辺のさらなるにぎわいを創出しました。



イルミネーション

■電気自動車急速充電器の再整備 950万円

電気自動車の普及を促進するため、市役所前に設置している電気自動車の急速充電器を再整備しました。



電気自動車急速充電器

便利で快適に暮らせるまち



■中新田丸田地区土地区画整理事業の推進 780万円

土地区画整理事業により新市街地の形成に向けて取組みを進めている中新田丸田地区について、令和6年3月末に市街化区域編入し、組合設立後、造成工事に向けた地盤改良を実施しました。

■海老名駅東口自由通路延伸による歩行者空間の確保 2,600万円

来街者や居住人口の増加が見込まれることから、歩車分離された安全で回遊性のある歩行者空間を確保するため、市道海老名駅大谷線の東側を通る自由通路延伸に関する基本計画を策定しました。

■You Bus実証運行の実施 ～門沢橋ルート～ 5,600万円

既存の地域公共交通では対応しきれないきめ細やかな移動支援を目指し、現在、下今泉地区において実施しているYou Bus実証運行を門沢橋地区においても開始しました。



実証運行車両(社家駅)

豊かな学びを育むまち



■ 学校教材の無償化 1億3,800万円

保護者の負担軽減を図るため、教材費の支援対象を県内初となる小中学校全児童・生徒に拡大し、実施しました。

■ 小中学校完全給食の提供 ～給食費一部公費負担～ 6,800万円

令和6年4月から中学校の完全給食を開始しました。
また、昨今の物価上昇による食材費について、保護者の負担軽減を図るため、一部を公費で負担しました。

■ 小中学校屋内運動場空調機の整備 2,500万円

児童生徒に安全・安心な学習環境を提供するとともに、避難所予定施設として機能強化を図るため、小中学校の屋内運動場に空調機を整備しました。



学校教材



学校給食

安全で安心して暮らせるまち



■ 4市間の消防通信指令業務の共同運用に向けた整備 1,300万円

三市消防指令センターについて、大和市を加え、現状の3市（海老名市、座間市、綾瀬市）から4市での共同運用とし、災害情報の一元化による応援体制の充実強化を図るため、令和8年度の運用開始に向けて整備を進めました。

■ 市内コンビニエンスストアへのAED設置 100万円

市内コンビニエンスストアに24時間365日使用できるAEDを設置し、救命率の向上に繋がる利用環境の整備を進めました。



コンビニエンスストアへのAED設置に関する協定

かがやきを創造するまち



■ 電子ブック作成・配信ツールの導入 50万円

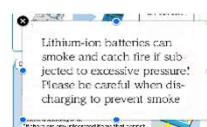
PDFファイルから電子ブックを作成するサービスを導入し、多言語対応のデジタルブックを配信しました。



多言語



読む



聞く

新たな発見ができるまち



■ 「#好きです海老名」の投稿写真等でフォトブックを作製 50万円

Instagramの「#好きです海老名」の投稿写真や「#好きです海老名」で募集した海老名のお気に入りのスポット写真を用いて、フォトブックを作製し、市政情報を併せて海老名の魅力情報を発信しました。

■ 海老名の魅力ベンチの設置 40万円

子どもたちが描いた海老名の魅力をデザインしたベンチを設置し、訪れた方がSNS等で発信することで、市の認知度向上に繋がりました。



海老名の魅力ベンチ



「#好きです海老名」
フォトブック

基金及び市債残高の状況

- 基金残高は、90億34百万円（前年度比1億86百万円、2.1%の増）となりました。
- 市債残高は、適債事業に対して必要な借り入れを行っている一方で、各会計において償還が進んだことから、386億73百万円（前年度比5億95百万円、1.5%の減）となりました。市民一人当たりの市債残高は県内16市と比較して低い水準となる見込みです。

（単位：千円）

区分	令和6年度末	令和5年度末	増減額	増減率
基金残高	9,034,270	8,848,344	185,926	2.1%
市債残高	38,673,039	39,268,477	△595,438	△1.5%
一般会計分	27,935,094	28,313,592	△378,498	△1.3%
特別会計分	87,178	97,982	△10,804	△11.0%
企業会計分	10,650,767	10,856,903	△206,136	△1.9%

注：市債残高における特別会計分は、公共用地先行取得事業特別会計です。

財政力指数及び経常収支比率

- 令和6年度の財政力指数（単年度）は1.060（前年度比0.007ポイント減）となり、前年度に引き続き普通交付税不交付団体となりました。
- 経常収支比率は、納税者の増加により市税などの経常的な収入が増加した一方で、物価高騰の影響による賄材料費などの物件費の増加や子育て支援等に係る扶助費が引き続き伸びていることなどにより経常的な支出が増加したため、95.7%（前年度比1.4ポイント増）となりました。

区分	令和6年度	令和5年度	増減
財政力指数（3か年平均）	1.054	1.029	0.025
財政力指数（単年度）	1.060	1.067	△0.007
経常収支比率（%）	95.7	94.3	1.4
実質収支比率（%）	5.0	7.5	△2.5

注：実質収支比率は、決算統計に基づき算定しています。

健全化判断比率及び資金不足比率

- 健全化判断比率及び資金不足比率については、いずれの比率も国が定めた基準を大きく下回っており、本市の財政の健全性は財政健全化法上も問題ないこととなりました。

【健全化判断比率】

区分	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	－（赤字なし）	11.85%
連結実質赤字比率	－（赤字なし）	16.85%
実質公債費比率	5.5%	25.0%
将来負担比率	31.7%	350.0%

【資金不足比率】

区分	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業会計	－（資金不足なし）	20.0%

お 問 い 合 わ せ 先

海老名市 財務部 企画財政課 電話 046-235-8453（直通）
FAX 046-233-9118 E-Mail zaisei@city.ebina.kanagawa.jp